

六花の輝き

<教育目標>

喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

当たり前のことを 当たり前

校長 遠藤和英

10月の全校朝会で以下のような話をしました。

最近の行事で私がうれしいと感じたことが2つあります。

1つ目はタカリンピックです。まずは、休む人がほとんどいなかったこと。マラソンは苦しいけれど、逃げずに挑戦したことがうれしかったです。また、タカリンピックの中でみんなの本気で頑張る姿をたくさん見ることができました。ちなみに、私は、マラソンが速かったと思いますか？（予想して手を挙げてもらったのですが、9割の子どもが、遅い方に手を挙げました。）そうです。すっごく遅くて、いつも最後の方でした。だから、早く走れない人の気持ちが、とてもよく分かりますが、みんな本当に最後までよく走り抜きました。みんなの頑張る姿に感動しました。

2つ目は、6年生と行った修学旅行でのことです。

まずは、旅行の中で、友達を思いやる姿がたくさん見られたことです。その中から1つだけ紹介します。2日目の昼食のあと、終わった班から買い物をしていることになっていました。みんな早く買い物に行きたい気持ちで一杯でしたが、なかなか食べ終わらない人もいました。「もっと早く食べて」…なんて言いたくなるところですが、その班の人たちがかけた言葉は、「急がなくていいよ」「待ってるからさ」「うん。ずーっと待ってるよ」でした。

それから、たくさんの見学場所やホテルの中での集合時間に、一度も遅れてくる人がいなかったことです。修学旅行の間、とても気持ちよく過ごすことができました。

さて、修学旅行中の6年生が時間を守ったこと、これって実は当たり前のことですね。だけど、この当たり前のこと、みなさんはいつもできていますか？「きちんとあいさつする」「脱いだ靴は揃える」「何かしてもらったらありがたうと言う」…、当たり前にかけていますか。

私は、当たり前のことが当たり前でできることが、本当にすごいことだと思っています。そのことを自分で「ABCDのきまり」と呼んでいます。ローマ字を習った3年生以上の人は分かるかもしれませんが、「あたりまえのことを」のA、「ばかにしないで」のB、「ちゃんとできる人が」のC、「できる人」のDです。このことは、子どもにだけ当てはまることではありません。大人になっても、当たり前のことが当たり前でできる人は素敵だなと思います。ぜひ、高志小のみんなにも、「ABCDのきまり」を意識してほしいなと思います。

いいですか「あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとできる人が できる人」ですよ。例えば、授業のはじめと終わりのあいさつがきちんとできていますか？ 教室で靴をきちんと履いていますか？ 廊下をきちんと歩いていますか？ 友達や家の人との約束を守っていますか？ ぜひ、当たり前のことをばかにしないでちゃんとできる人になってください。

今日は、「行事で見つけた嬉しかったこと」と「ABCDのきまりを意識しよう」という2つの話をしました。

以上が子どもたちに話した内容です。子どもたちには、ぜひ、「当たり前のことが、当たり前のようにできる」素敵な大人になってほしいと強く感じています。今後も一緒に考える場を繰り返し設定し、子どもたちが「高志小学校ABCD」として強く意識してくれればと願っています。

高志小学校ABCD**A: 当たり前のことを****B: ばかにしないで****C: ちゃんとできる人が****D: できる人(すごい人)**